

スライド式ホワイトボード

この度は、当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本説明書を組み立ての前に必ずお読みの上、正しくお取り扱い下さいますようお願いいたします。
また、本書を大切に保管して下さい。

組み立て時のご注意！



- 組み立てる際は、指先などを傷付けないよう、手袋等を着用して下さい。
 - 開封する際は、カッターナイフなどで本体を傷付けないよう十分ご注意下さい。
 - 工具類の取り扱いには、十分ご注意下さい。
 - 組み立ての際はお子さまに注意し、なるべく広い場所で行って下さい。
 - 組立説明書に従って組み立てて下さい。組み立て手順を間違えると、組み立たない場合があります。
 - 組み立て手順に従い、ネジ等で確実に止めて下さい。不十分ですと、製品が破損したりケガをする恐れがあります。
- ※ 部材や床などにキズが付かないよう、ダンボールや毛布等を敷いて組み立てて下さい。

使用時のご注意！



- 必ず水平な場所でご使用下さい。
 - 風の強い場所等に設置しないで下さい。転倒して、ケガをする恐れがあります。
 - ご使用の際は、必ずキャスターのストッパーはロックして下さい。
 - 組んだ状態で移動させる際は、ボードを下まで下ろし、必ず二人以上で行って下さい。
 - ★ スライド固定ネジは、必ず保管して下さい。また、収納や移動のために分解される場合は、スライド固定ネジ4ヶ所が確実に止まっていることを確認して、作業を行って下さい。
 - 製品の特性上 重心が後ろにあるため、後方への過度な力を加えないで下さい。転倒したり、倒れてケガをする恐れがあります。
 - 粉受けの上に重い物(300g以上/マーカーおよそ6本分)を載せないで下さい。スライドボードが下がる恐れがあります。
 - 移動またはボードをスライドさせる際は、粉受けを持たないで下さい。粉受けが変形したり、壊れたりする恐れがあります。
 - スライドさせる際は、ボードに手などを挟まないよう、十分ご注意下さい。
 - ボード面を傷付けないで下さい。
 - ★ 運搬目的では使用しないで下さい。転倒したり、キャスターが破損して、倒れてケガをする恐れがあります。
 - ★ 段差等は、本製品を引っ張り上げるようにして越えて下さい。無理に段差等を越えますと、転倒したり、キャスターが破損して、倒れてケガをする恐れがあります。
 - ★ カーペット上で移動させる場合は、必ずゆっくりと行って下さい。転倒したり、キャスターが破損して、倒れてケガをする恐れがあります。
 - ★ キャスターのネジは、定期的に締め直して下さい。緩んだままで使用しますと、転倒したり、キャスターが破損して、倒れてケガをする恐れがあります。
 - 本製品にもたれ掛けたり、乗ったり、重いものを引っ掛けたりしないで下さい。転倒したり、壊れてケガをする恐れがあります。
 - キャスターのストッパーをロックした状態で、無理に移動させないで下さい。破損の原因になります。
 - 高温のものを直接当てたりしないで下さい。塗装面が変色したり、剥がれることがあります。
 - 直射日光や冷暖房器具の風を直接当てないで下さい。歪んだり変色したりすることがあります。
 - 分解や改造をしないで下さい。破損したりケガをする恐れがあります。
 - 異常を見つけたらそのまま使用せず、製造元へご連絡下さい。
- ※ 改善のため、予告無く仕様を変更することがあります。

ボードのお手入れ方法

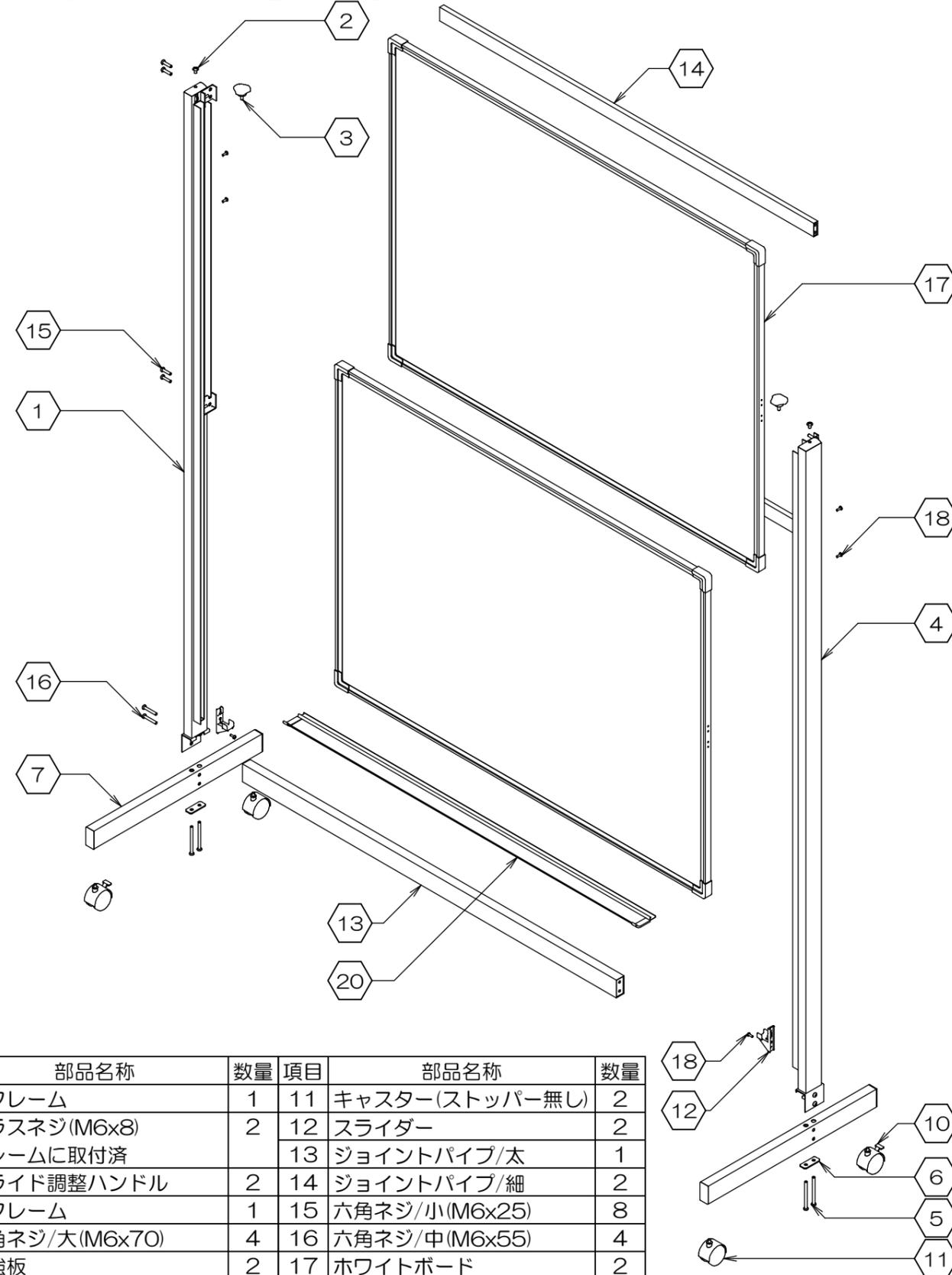
ホコリを落とす際は、柔らかい布で乾拭きするか、きつく絞った布等で拭いて下さい。
汚れのひどい場合やイレイザーで落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後 硬く絞った布等で洗剤を完全に拭き取って下さい。
※シンナー・アルコール類は使用しないで下さい。

製品仕様 外形寸法：幅1273mm×奥行595mm×高1943mm
重 量：29kg
主要材料：スチール、ABS樹脂
表面処理：パウダー塗装

F2411-R3

組み立てる前に、各部品を確認して下さい。

※組み立ての際は、プラスドライバーをご用意下さい。



項目	部品名称	数量	項目	部品名称	数量
1	左フレーム	1	11	キャスター(ストッパー無し)	2
2	トラスネジ(M6x8)	2	12	スライダー	2
	フレームに取付済		13	ジョイントパイプ/太	1
3	スライド調整ハンドル	2	14	ジョイントパイプ/細	2
4	右フレーム	1	15	六角ネジ/小(M6x25)	8
5	六角ネジ/大(M6x70)	4	16	六角ネジ/中(M6x55)	4
6	補強板	2	17	ホワイトボード	2
7	脚	2	18	スライド固定ネジ(M4x13)	6
8	六角レンチ	1	19	ホワイトシール	4
9	スパナ	1	20	粉受け	1
10	キャスター(ストッパー有り)	2			

お問い合わせ先
販売元：有限会社 P・G GLORIA 06-6766-2575
製造元：株式会社 林製作所 072-960-0500
〒578-0925 大阪府東大阪市稲葉1-4-50

SW-121

1. フレームの準備

必ず二人以上で組み立てて下さい。

※ 下図のように、寝かせて組み立てると作業が楽になります。

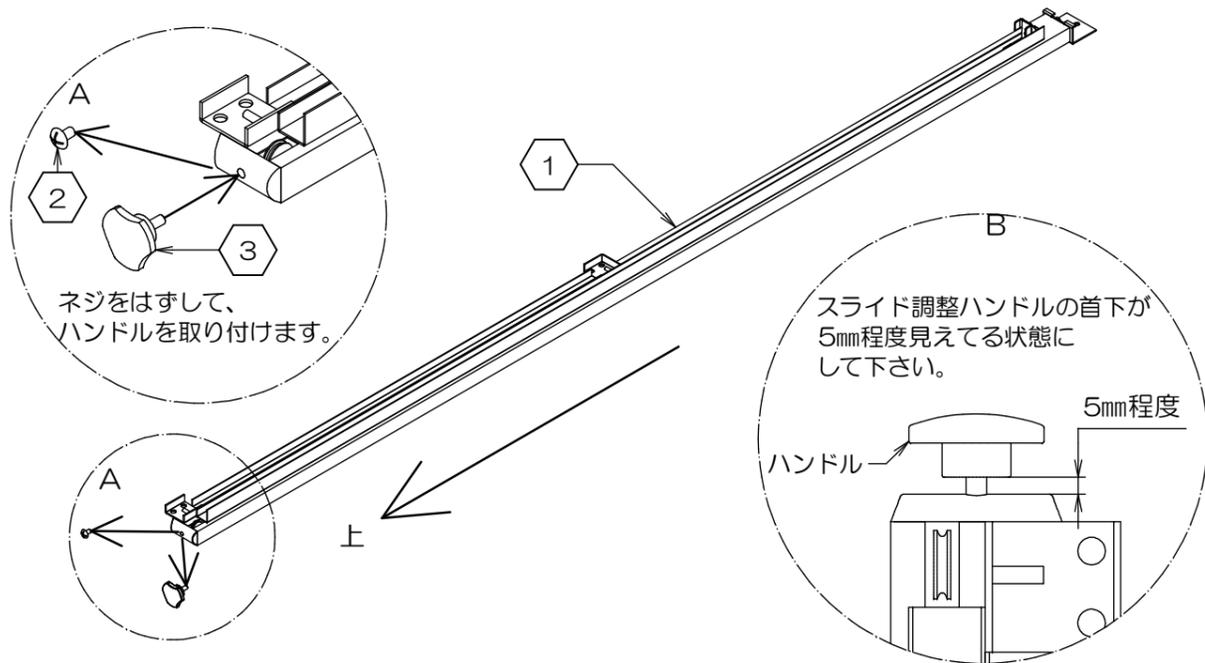
- まず最初に、①左フレームの黒い樹脂部分に取り付けてある②トラスネジを取り外します。
- 次に、③スライド調整ハンドルをトラスネジが入っていたネジ穴に仮留めします。
(図A参照)

このとき、スライド調整ハンドルの首下が5mm程度見えている状態にして下さい。

(図B参照)

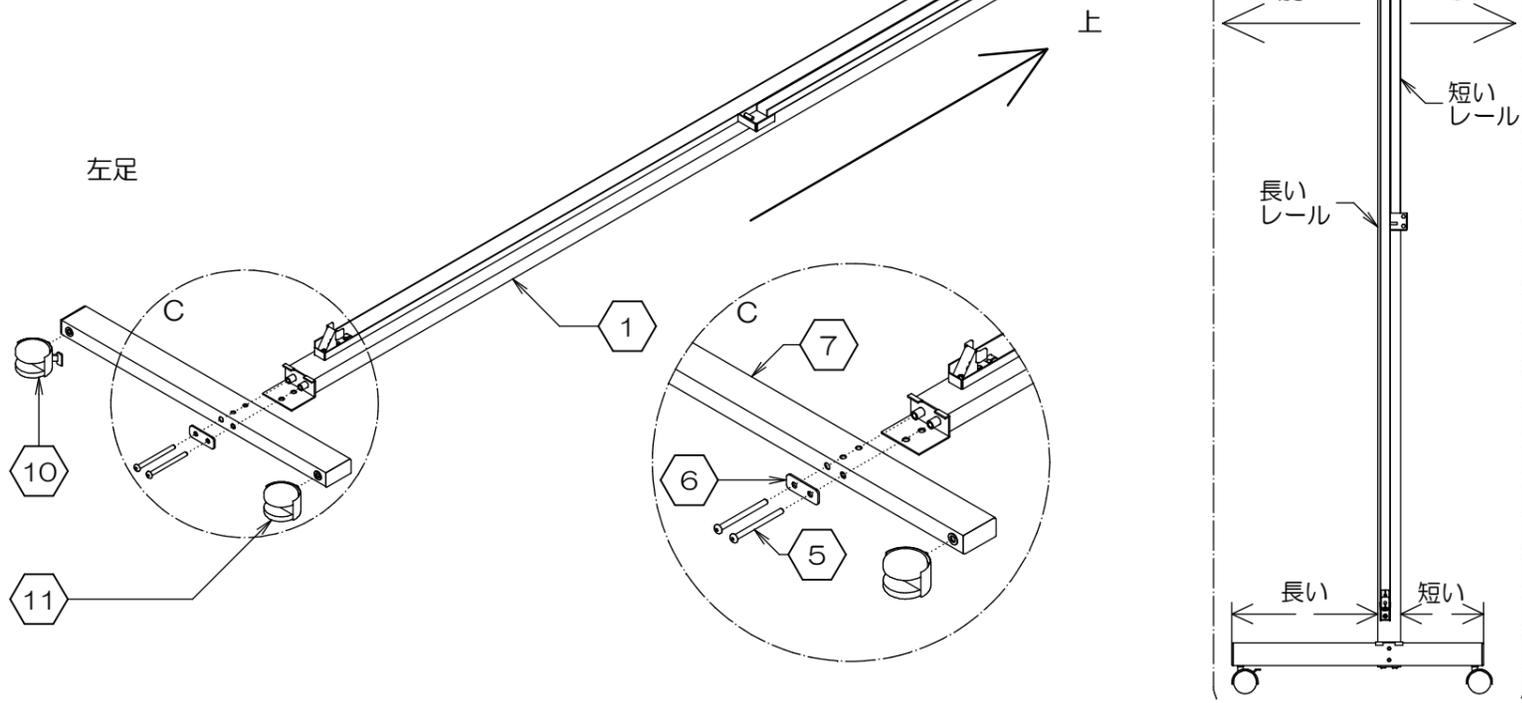
注) 強く締めすぎますと、故障の原因になります。

- 同様に、④右フレームのトラスネジも取り外し、スライド調整ハンドルを取り付けて下さい。



2. 脚部の組み立て

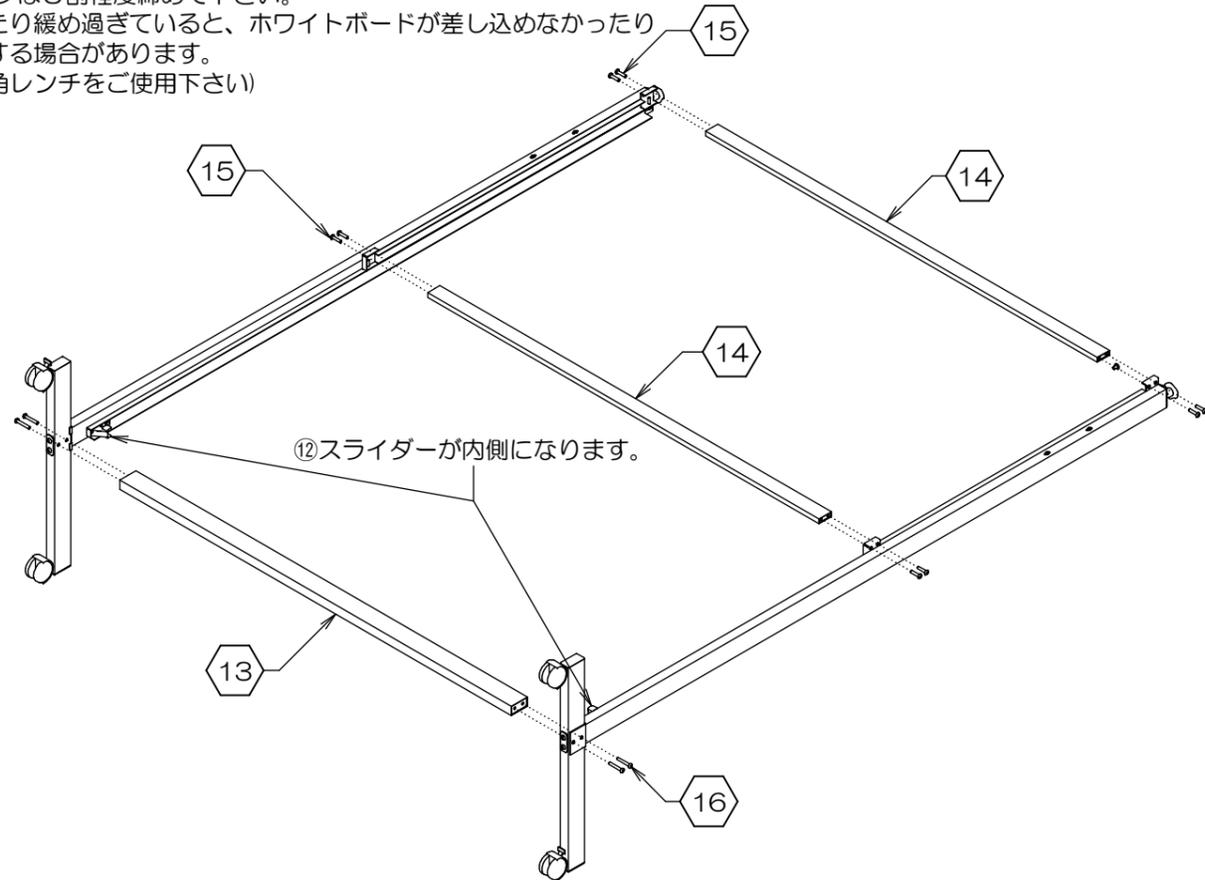
- ⑤六角ネジ/大と⑥補強板を使って、左フレームと⑦脚を確実に固定します。
(付属の⑧六角レンチをご使用下さい)
その際 図Dを参考に、前後を間違わないように取り付けて下さい。
- 次に、付属の⑩スパナを使って、⑩⑪キャスターを取り付けます。
- 同様に、右脚を組み立てます。



3. フレームの組み立て

※ T字フレームは、⑫スライダーの付いているほうが内側になります。

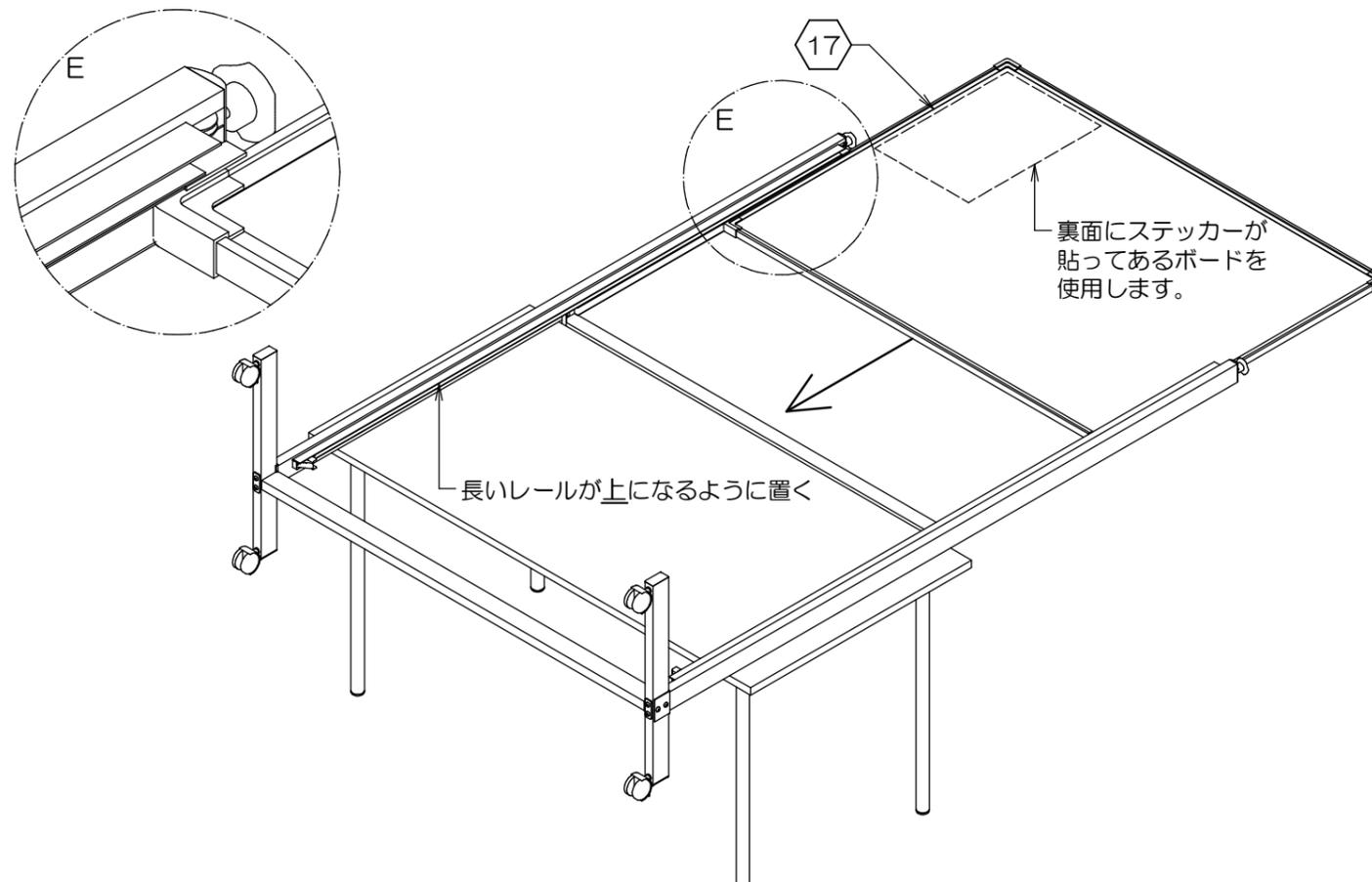
- 前項で組んだ左右のT字フレームと、⑬ジョイントパイプ/太と⑭ジョイントパイプ/細を、⑮六角ネジ/小と⑯六角ネジ/中を使って仮組みします。
この際 ネジは8割程度締めて下さい。
締め過ぎたり緩め過ぎていると、ホワイトボードが差し込めなかったり外れたりする場合があります。
(付属の六角レンチをご使用下さい)



4-1. ホワイトボードの取り付け

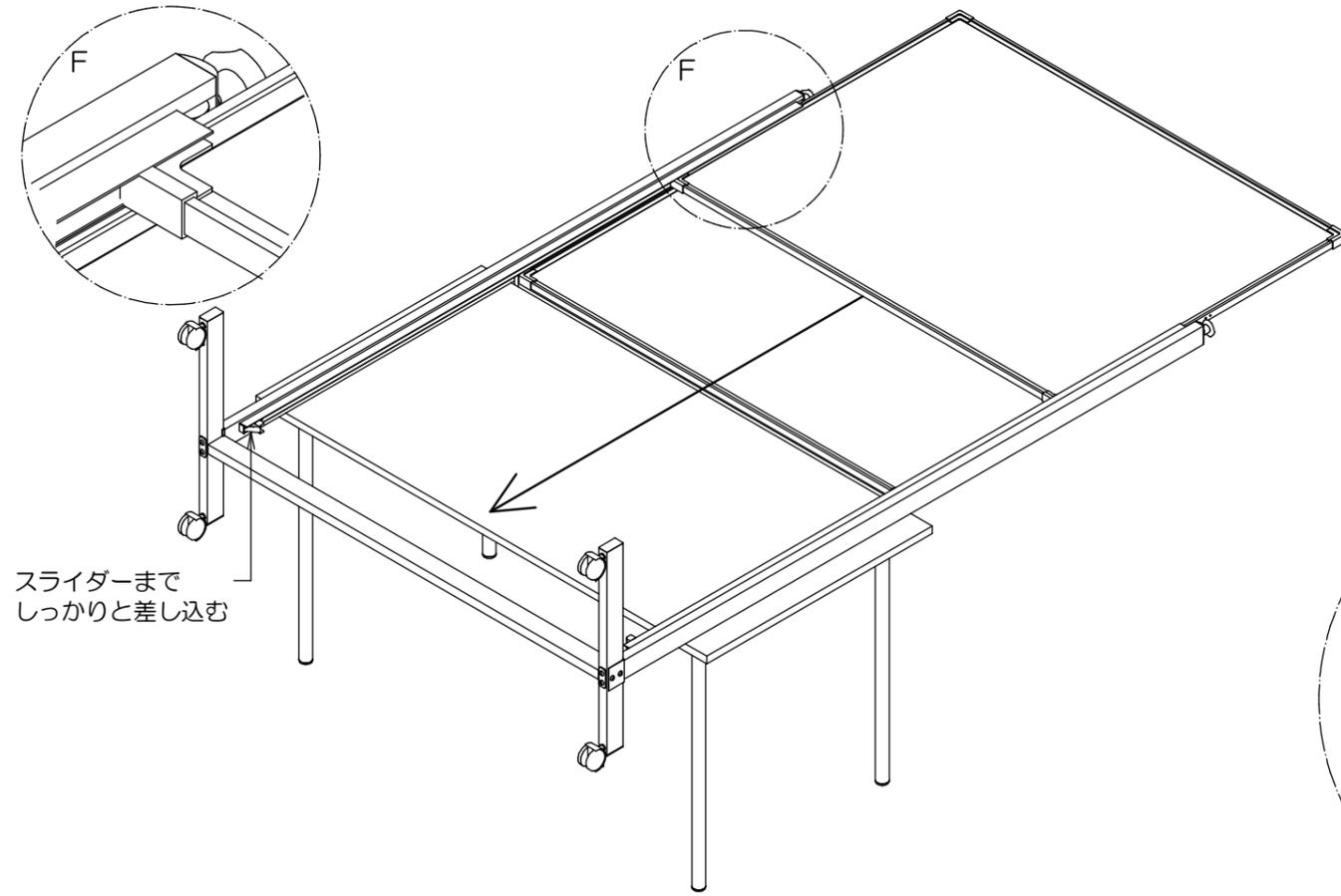
※ この作業で取り付ける⑰ホワイトボードは、裏面に【使用時のご注意】のステッカーが貼ってあるほうをご使用下さい。

- 前項で組んだフレームを、長いレールが上になるように、机の上に寝かせます。
- フレームの上部から、短いレールにホワイトボードを差し込み、奥までしっかりと押し込んで下さい。
このとき、ホワイトボードの表面が上になるようにして下さい。



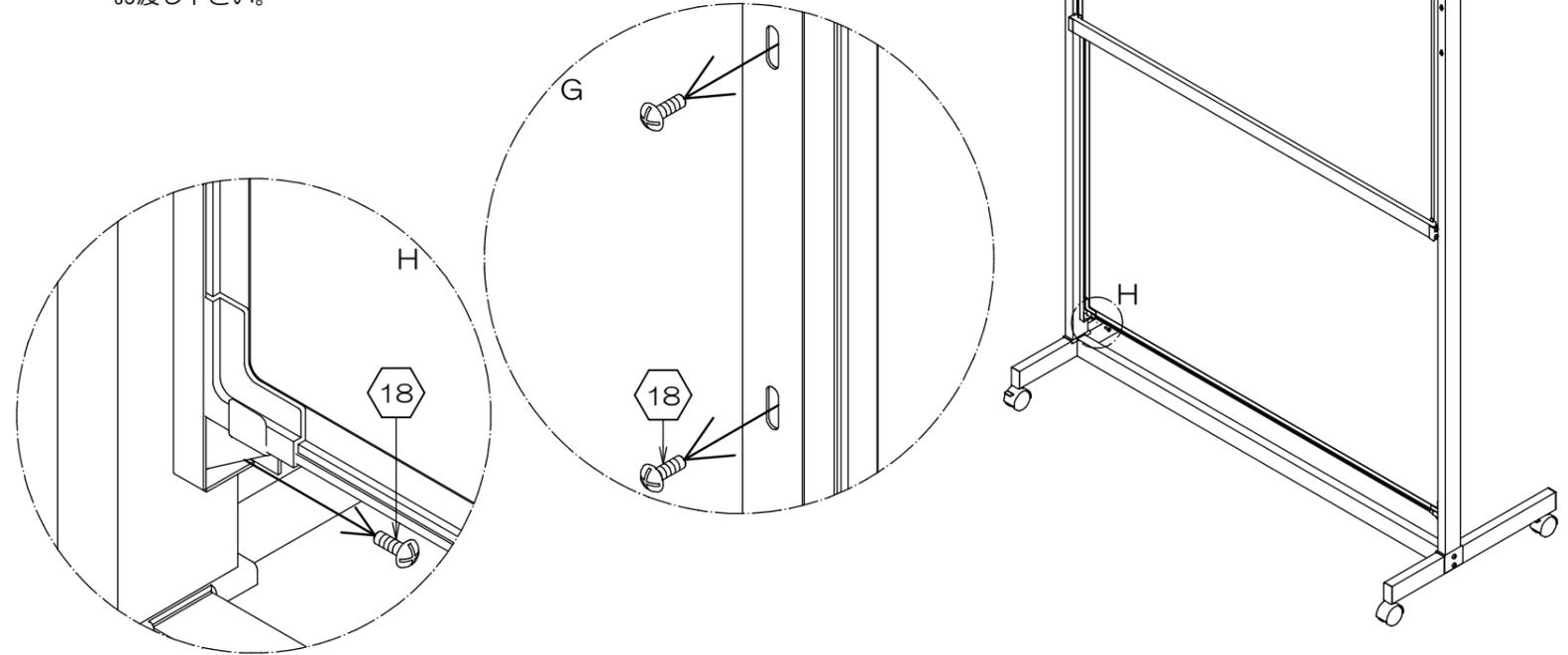
4-2. ホワイトボードの取り付け

- 次に、もう一枚のホワイトボードを長いレールに差し込み、下のスライダーまでしっかりと押し込んで下さい。



5. ロックの解除

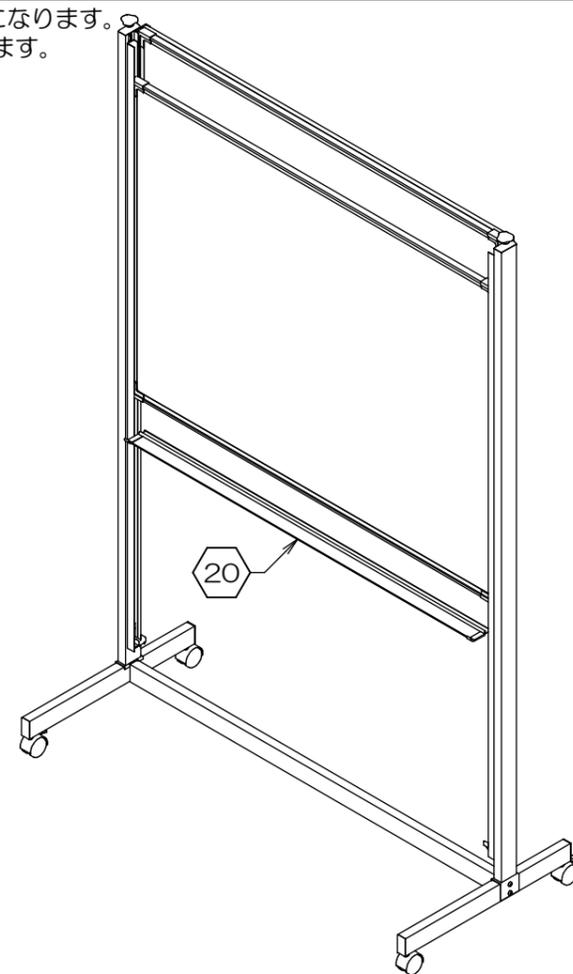
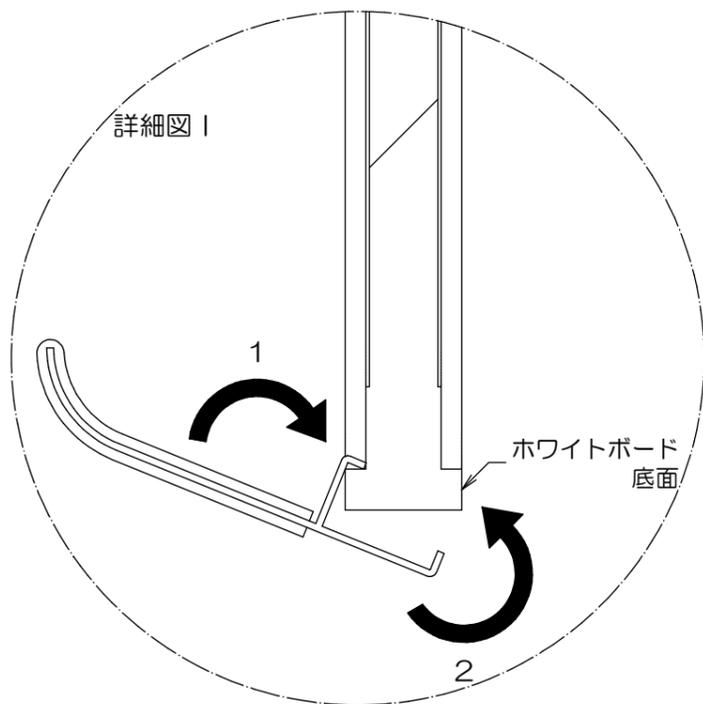
- 机の上に寝かせていた本体を起します。
- 仮止めていたすべてのネジを、バランスを整えながら、しっかりと増し締めします。
- 本体背面の上部と、スライダーに付いている⑱スライド固定ネジ 6個を外します。この時点で、前面側のホワイトボードはスライド可能となります。
- 本体のスライド固定ネジを外した穴 4ヶ所に、⑲ホワイトシールを貼ります。
- ※ スライド固定ネジは、大切に保管して下さい。製品を移動する際、スライドを再度固定するのに必要となります。また、スライドを固定せずに移動することは大変危険ですので、絶対におやめ下さい。
- ※ 組み立てされる方と使用者が異なる場合は、必ずスライド固定ネジを使用者にお渡し下さい。



6. 粉受けの取り付け

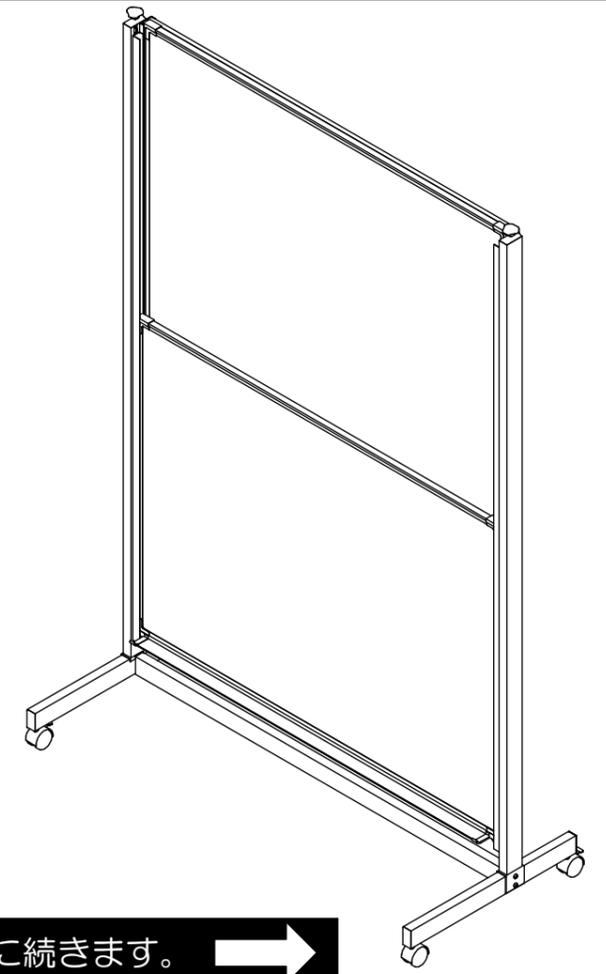
※下図のように、ホワイトボードを上スライドさせると、作業が楽になります。

- 詳細図1を参考に、⑳粉受けを前面のホワイトボードの底面に取り付けます。まず最初に、前面側を引っ掛け、次に背面側をカチッとはめ込みます。



7. 完成です。

- スライド調整ハンドル以外のすべてのネジ等が緩んでいないか確認して下さい。緩んでいる場合は、締め直して下さい。



裏面の[スライド調整ハンドルの初期設定]に続きます。 →

スライド調整ハンドルの初期設定

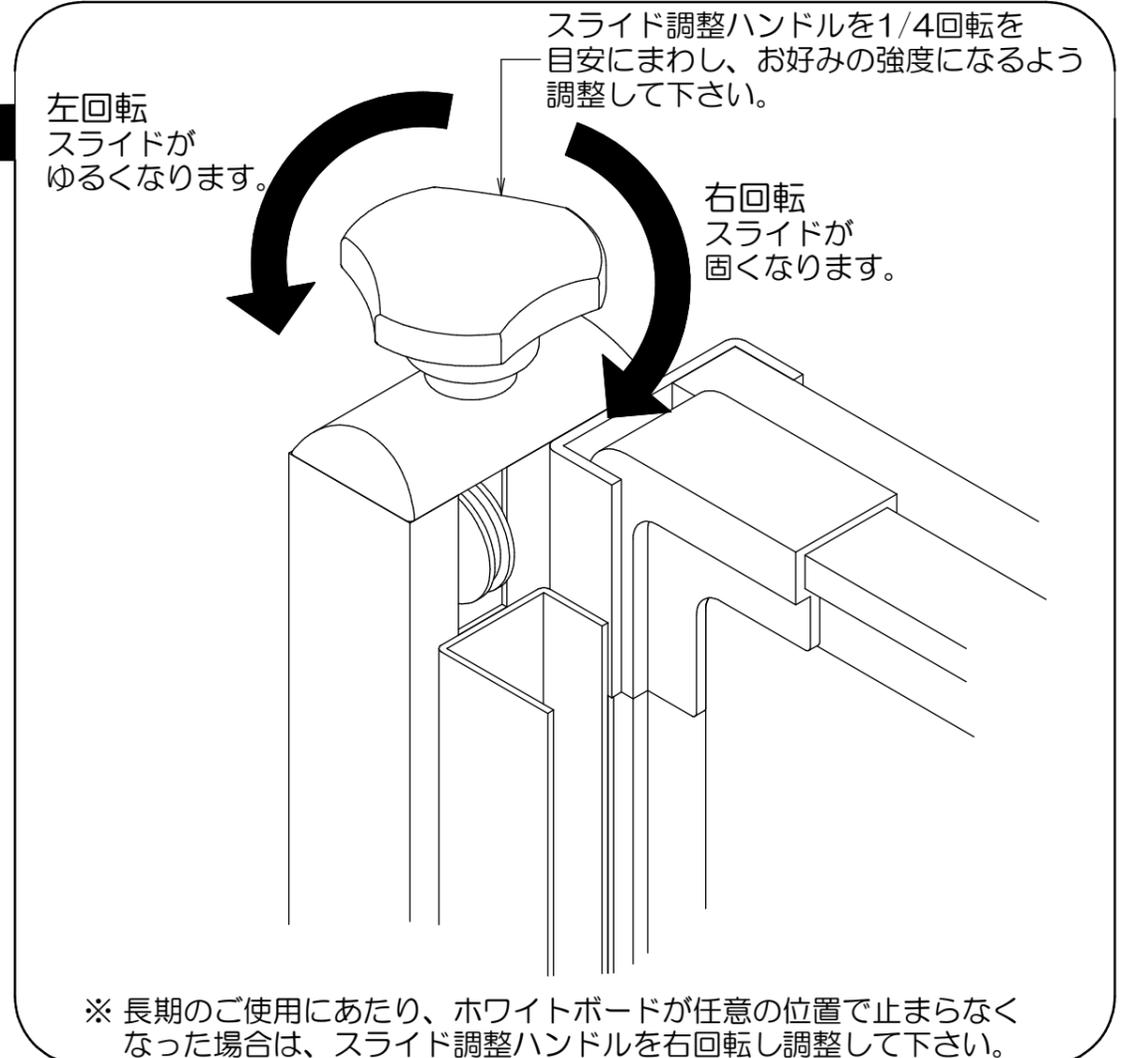
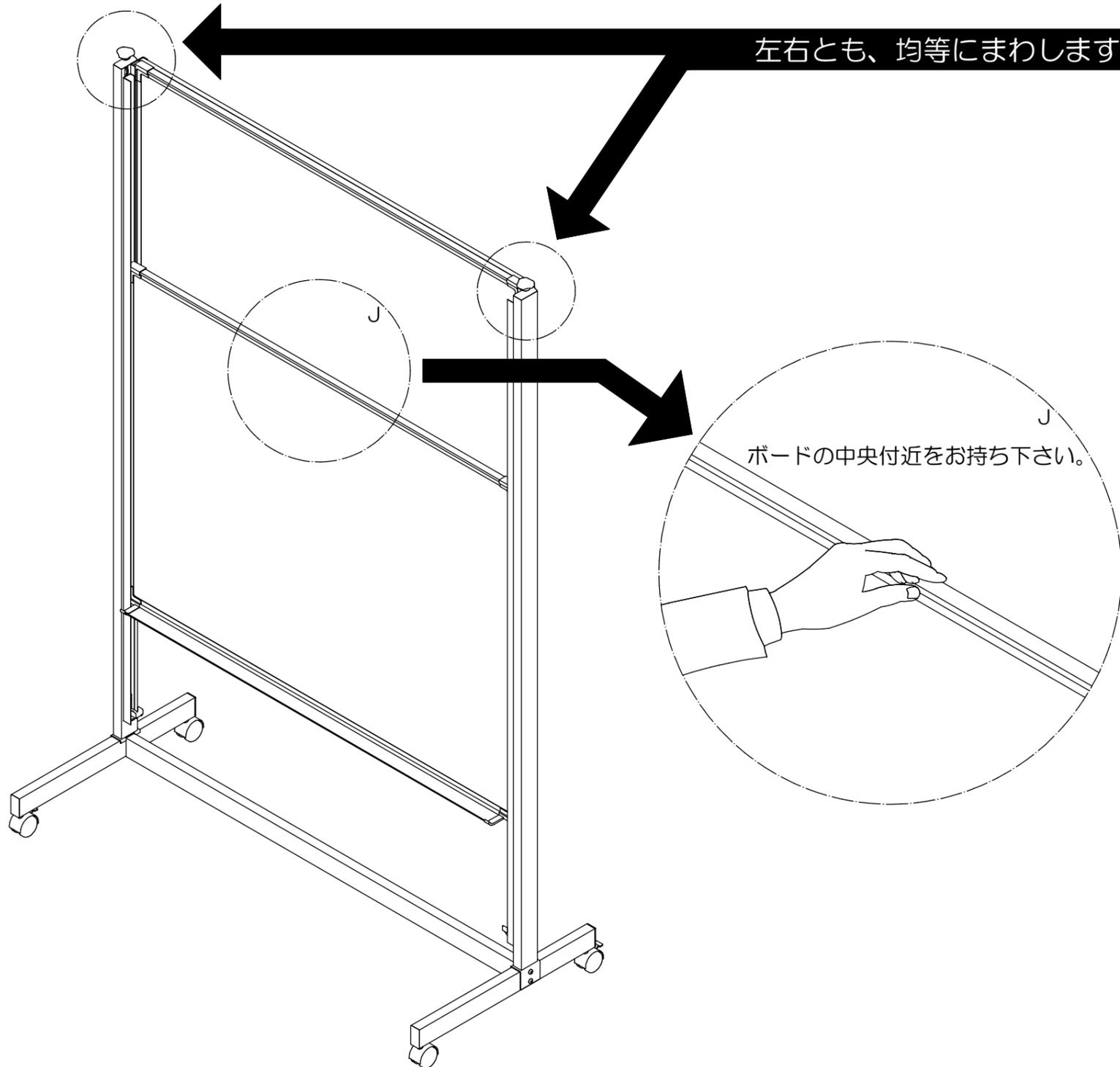
● スライド側の、ホワイトボードの滑り具合を調整します。

注) この初期設定は必ず行って下さい。設定を行わずに使用しますと、ホワイトボードがスライドできなかつたり、お好みの場所で止まらない場合があります。

1- ホワイトボードの中央付近を持ち、上下にゆっくりとスライドさせます。

注) 指などを挟まないよう、十分ご注意ください。

2- スライドが固すぎる・またはゆるすぎる場合は、左右フレーム上部のスライド調整ハンドルを、下図を参考に1/4回転を目安にまわし、お好みの強度になるよう調整して下さい。



- スライド調整ハンドルは、左右均等にまわして下さい。片方のみで調整されると、ホワイトボードがスムーズにスライドできなくなります。
- スライド調整ハンドルを、強く締めすぎないで下さい。強く締めすぎると、故障の原因となります。必ずホワイトボードがスライドできる固さを限度とし調整してご使用下さい。
- ホワイトボードをロックさせることは、絶対にしないで下さい。